

DVDによる成年後見人経験者用セミナー（立川会場）カリキュラム
（新規名簿登載の単位には使用できません）

開催日時	テーマ及び【単位数】	講師
第1日目 平成31年 1月22日 (火曜日)	I 18:15～19:45 (90分) 認知症の方との接し方 (1831036)【更新：1.5単位】	都立松沢病院 医師 井藤 佳恵 (※1)
	II 19:55～21:25 (90分) 成年後見人が知っておくべき介護保険 制度と地域包括ケア (1831037)【更新：1.5単位】	社会福祉士 山本 繁樹
第2日目 1月24日 (木曜日)	I 18:15～19:45 (90分) 成年後見人が知っておきたい年金知識 (1831039)【更新：1.5単位】	社会保険労務士事務所溝口 労務サポートオフィス 社会保険労務士 溝口 知実
	II 19:55～21:25 (90分) 成年後見業務に関する苦情の種類と 注意点 (1831038)【更新：1.5単位】	リーガルサポート東京支部 常務幹事 鈴木 譲 同業務管理委員会 委員長 野口 雅人 (※2)
第3日目 1月29日 (火曜日)	I 18:15～21:25 (180分) 認知症の人にやさしい金融機関の あり方について ～認知症の人の地域生活を支えるため の意思決定サポート～ (1801011)【更新：3単位】	中央大学法学部 教授 小賀野晶一 京都府立医科大学大学院 教授 成元迅 弁護士 椎名基晴 社会福祉士 上林里佳 みずほ情報総研株式会社 小松紗代子 リーガルサポート愛知支部 名倉雄一郎 (※3)
第4日目 2月5日 (火曜日)	I 18:15～19:45 (90分) 最近の横領事例にみる専門職後見人の 倫理 (1831041)【倫理】【更新：1.5単位】	リーガルサポート本部 理事長 矢頭 範之
	II 19:55～21:25 (90分) 専門職後見人による後見事務遂行上の 留意点、問題点等 (1831042)【更新：1.5単位】	東京家庭裁判所 判事 浅岡千香子 判事補 小西俊輔 判事補 島田壮一郎

- ※1 1月22日（火）「I 認知症の方との接し方」は、講師である井藤佳恵先生御意向により、プロジェクトのみを撮影したDVDの研修となります。
- ※2 本講義は、平成30年10月27日収録時にはディスカッション（30分）を行いました。今回の研修ではディスカッションを行いませんので御注意ください。
- ※3 本講義は、平成30年6月17日に開催された第6回研究大会第3分科会を収録したものです。途中休憩10分（19:45～19:55）を挟みます。

DVDによる成年後見人経験者用セミナー（立川会場）テーマ概要

日 時		テーマ	概 要
1月 22日 (火)	I 18:15～ 19:45	認知症の方との接し方 (平成30年10月27日収録)	認知症の症状、認知症高齢者を取り巻く環境等を学び、認知症の方との接し方を理解することで被後見人等の権利擁護に役立たせましょう。
	II 19:55～ 21:25	成年後見人が知っておくべき介護保険制度と地域包括ケア (平成30年10月27日収録)	成年後見人としての活動をしていく上で把握しておくべき介護保険制度の概要、活用できるサービス内容、介護支援専門員（ケアマネジャー）の役割等についてお伝えする。また、政策動向としての地域包括ケアや地域共生社会の概要、考え方についてお伝えする。
1月 24日 (木)	I 18:15～ 19:45	成年後見人が知っておきたい年金知識 (平成30年11月3日収録)	公的年金を受給する成年被後見人にとって、公的年金は生活の糧となる重要な収入源です。本講座では、成年後見人が知っておきたい年金制度の基礎知識、成年後見人が行う手続、受給者が死亡した場合の手続等、公的年金の専門家である社会保険労務士が解説します。
	II 19:55～ 21:25	成年後見業務に関する苦情の類型と注意点 (平成30年10月27日収録)	リーガルサポート東京支部には1年間で約40件の会員への苦情申立てがある。これらの苦情の中には少し注意をしていれば苦情に至らなかったと思われるものも少なくない。そこで、これまでに寄せられた苦情の内容を類型化し、どのような点に注意すれば苦情に至らないで済むのかを簡略化した事例を示しつつ解説していきたい。
1月 29日 (火)	I 18:15～ 21:25	認知症の人にやさしい金融機関のあり方について ～認知症の人の地域生活を支えるための意思決定サポート～ (平成30年6月17日収録)	認知症高齢者は近年急激に増加し、団塊の世代が75歳を迎える2025年には約700万人になると言われています。 現在、愛知支部の名倉勇一郎会員が参加しているCOLTEM「高齢者の地域生活を健康時から認知症に至るまで途切れなくサポートする法学、工学、医学を統合した社会技術開発拠点」(Collaboration center of law, technology and medicine for autonomy of older adults; COLTEM)では、法学、工学、医学の研究者、福祉介護の実務家、金融機関、企業および行政が一体となり、高齢者の生活を支える革新的かつ経済的な包括的支援システムの開発を検討しています。 これまで、リーガルサポートでは、外部の有識者の見識を参考にして、成年後見人の行動指針、判断能力の衰えた方の医療同意の意思決定や意思決定支援に関する研究をし、発表をしてまいりましたが、上記の研究プロジェクトは、より多様な分野の研究者や実務家の知見を得ることができました。 昨年、上記研究プロジェクトの金融チームでは、金融機関における認知症高齢者の意思決定支援や行政との連携を模索した金融機関向けのガイドを作成し、さらに、金融機関の職員向け研修を通して、金融機関自体が、地域における支援組織になる提案をしましたが、その成果をリーガルサポートの研究大会において発表する旨、分科会を企画いたしました。
2月 5日 (火)	I 18:15～ 19:45	最近の横領事例にみる専門職後見人の倫理 (平成30年11月30日収録)	最近の横領事例からなぜ横領に着手するのかを考え、横領行為には共通した背景・動機・兆候等があるとすれば、その共通事項を取り上げて、その着手防止の方法を模索します。
	II 19:55～ 21:25	専門職後見人による後見事務遂行上の留意点、問題点等 (平成30年11月30日収録)	東京家庭裁判所後見センター判事をお招きし、専門職後見人による後見事務遂行上の留意点、問題点等について御講義いただきます。